

JSS F4 Scholarship Report

JSSスカラシップドライバー(S-FJからF4へのスカラシップ)大湯都史樹選手の参戦レポート



2016年JAF地方選手権F4西日本シリーズ 第1戦 第2戦
大会名 2016 岡山チャレンジカップレース
開催日 2016年 4月 23/24日 晴れ ドライ
開催場所 岡山国際サーキット
参加台数 7台

※写真は今回間に合わず、昨年と同じ車両の為、昨年の写真を使用しています。

本年度のスカラシップドライバー大湯都史樹選手は、昨年度はS-FJ岡山シリーズでチャンピオンを獲得し、S-FJ日本一決定戦では2位を得て、JSS F4スカラシップ生となりました。今年はF4西日本シリーズにフル参戦致します。

ステップアップ後、初めてのレースとなるF4西日本シリーズの第1戦は、走り慣れた岡山国際でのレース、果たしてS-FJ同様のポテンシャルを発揮出来るのか、注目されるレースでした。

今回のレポートは大湯選手の報告書を殆どそのまま掲載します。

■練習走行

・4/21 木曜日

ついにJAF-F4西シリーズ開幕ラウンドが始まり自分がステップアップしたカテゴリーでどこまで通用するか挑戦できる舞台に立つことが出来ました。

この日はまず、あまりJAF-F4での練習走行をしていなかったことから、マシンになれることを重点として練習走行しました。サーキット自体は去年S-FJでチャンピオンを獲得した、岡山国際サーキットだったのでコースの攻略は出来ていました。コンディションは自分としても得意なレインコンディションだったので速いタイムをすぐ出すことが出来たのですが、スピンすることが多くマシンをまだ操りきれない状態だと思っています。

・4/22 金曜日

前日とは違いドライコンディションとなりました。しかし、途中の走行でエンジントラブル発生したことにより、まともに走ることが出来ずに練習走行終了となってしまいました。

次の日のレースにエンジンが間に合うかどうか分からない状態だったにもかかわらず夜遅くまでメカニックの皆さんが直してくださり何とか翌日に間に合う形となり感謝の気持ちでいっぱいです。その感謝の気持ちを次の日レースで必ず返そうと胸に秘めて臨みました。

■公式予選 1位

第1戦予選：1位 第2戦予選：1位

2番手とはタイム差もあり余裕がありましたが、自分としては今回マシンの操り方にまだ課題があり、そこを克服出来ていない状態でした。自分なりに何度もトライしてみたものの、ピットに帰ってきてロガーデータを確認すると全然修正されていなかったりと非常に悩みました。

第1戦 予選

Pos	No	Cls	Driver	Type	Team/Car Name	Time
1	11		大湯 都史樹	KK-ZS	TANZEN Rn-s JSS MYST	1'32.885
2	77		久保 宣夫	KK-ZS	オートセレクトジャパン*MYST*制動屋	1'33.928
3	27	H	八巻 渉	WEST006	モレキュールアキランドイーグル	1'34.300
4	95	H	佐藤 健介	WEST976	KRS赤レンジャー・ANDARE・976	1'35.789
5	23	H	高柳 文哉	WEST006	ウエスト006	1'36.100
6	7	H	山岸 洋之	WEST056	イーグルスポーツ☆MTN☆056	1'37.564

第2戦 予選

Pos	No	Cls	Driver	Type	Team/Car Name	Time
1	11		大湯 都史樹	KK-ZS	TANZEN Rn-s JSS MYST	1'32.928
2	27	H	八巻 渉	WEST006	モレキュールアキランドイーグル	1'34.323
3	77		久保 宣夫	KK-ZS	オートセレクトジャパン*MYST*制動屋	1'34.424
4	23	H	高柳 文哉	WEST006	ウエスト006	1'36.364
5	95	H	佐藤 健介	WEST976	KRS赤レンジャー・ANDARE・976	1'35.393
6	7	H	山岸 洋之	WEST056	イーグルスポーツ☆MTN☆056	1'37.985

■第1戦レース 優勝

スタートでエンジnstoolをさせてしまい一時は最後尾まで順位を下げましたが、そこからすぐリカバリーし、序盤の内にトップに戻る事が出来たのは良かったと思います。

しかし、今日の課題である自分の走りの改善がなかなか出来ず、レース中に何度も色々なことを試したのですが、後一つのところが足りていないといった感じでした。

第1戦 決勝

Pos	No	Cls	Driver	Type	Team/Car Name	Lap	Time
1	11		大湯 都史樹	KK-ZS	TANZEN Rn-s JSS MYST	15	23'34.058
2	77		久保 宣夫	KK-ZS	オートセレクトジャパン*MYST*制動屋	15	23'55.001
3	27	H	八巻 渉	WEST006	モレキュールアキランドイーグル	15	23'56.744
4	95	H	佐藤 健介	WEST976	KRS赤レンジャー・ANDARE・976	15	24'26.187
5	7	H	山岸 洋之	WEST056	イーグルスポーツ☆MTN☆056	15	24'46.162

■第2戦レース 優勝

前の日の夜にチーム関係者の方から、マシンの向きの変え方について詳しく教えて頂き自分の中で大きなヒントとなりました。そのヒントを元に自分の中でも決勝中に色々試した結果、このレースを通して次に繋がりそうな走り方を見つけることが出来たと思います。

第2戦 決勝

Pos	No	Cls	Driver	Type	Team/Car Name	Lap	Time
1	11		大湯 都史樹	KK-ZS	TANZEN Rn-s JSS MYST	14	21'52.251
2	27	H	八巻 渉	WEST006	モレキュールアキランドイーグル	14	22'23.239
3	77		久保 宣夫	KK-ZS	オートセレクトジャパン*MYST*制動屋	14	22'24.758
4	7	H	山岸 洋之	WEST056	イーグルスポーツ☆MTN☆056	14	22'51.545
5	95	H	佐藤 健介	WEST976	KRS赤レンジャー・ANDARE・976	14	23'03.452
6	23	H	高柳 文哉	WEST006	ウエスト006	14	23'32.589

■まとめ

今回トラブルや自分のミスによるアクシデント等ありましたが、その中で自分の次のステップに進める手掛かりのようなものを掴むことが出来ました。このことをしっかりと覚えて今後のレースに活かしていきたいと思えます。

次戦からも引き続き優勝出来るように努力していきたいと思えます。

このように、大湯選手は初めてのF4レース参戦ながら第1戦、第2戦共、見事に優勝致しました。

今年のF4西日本シリーズは参加台数が昨年より減少し、少し寂しい状況ですが、レポートにもあるとおり、大湯選手は自身に厳しくレベルアップを目指して努力し、今後を見つめてレースに取り組んでいる様子が窺われます。

どうか皆様、これからも大湯都史樹選手をご声援下さい。